

デイ通信

〈題字〉 板原玲子

令和2年10月1日発行
デイサービスセンターアウル

『身土不二』

北海道の朝晩は、お盆が過ぎると寒くなるという定説がある
不思議とそうなので、いくら北海道がクソ暑くても
お盆が来ればという、ぼくには希望がある
案の定、北海道の夏の朝晩は冷える
大袈裟にいうと、これが地球を感じて生きているということなのか
同じように「身土不二」という言葉がある

身土不二とは

「身と土、二つにあらず」、つまり人間の体と人間が暮らす土地は一体で、切っても切れない関係にあるという意味の言葉です。言葉の起原は大昔の仏典に遡ることができ、現在では食の思想として「その土地のものを食べ、生活するのがよい」という意味で使われています。(Google 検索・引用)

ぼくは、この言葉が好きだ
好きというより、気に入っている
学のないぼくに、この言葉を知っていることで
なんだか学があるような気にさせてくれるから
見栄っ張りのぼくらしい

「身土不二」

人類は、この地球と共に生きているということ
人類は、自然の一部に過ぎないということ
もう少しだけ謙虚に
気にかけて方がいいのではないだろうか
そう感じた

感謝

ア ウ ル 宮 崎 直 人

9月お誕生日(3名)



松岡 良子様
昭和13年9月5日

82歳



相原 玲子様
昭和7年9月15日

88歳



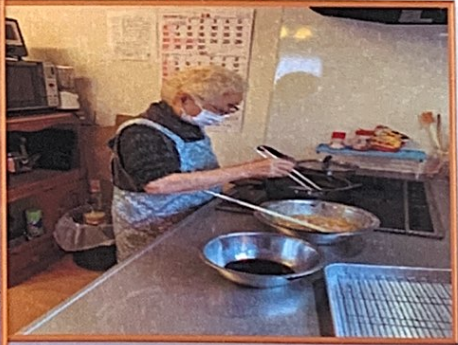
林 正男様
昭和4年9月17日

91歳

皆様
お誕生日



おめでとうございます



～調理支援～
皆さん お昼の支度で
大忙しです!